

- P1 環境学習講座レポート、環境学習講演会報告
セミナーパークで自然観察！
- P2 こどもエコクラブ紹介、イベント案内、ミニ情報
- P3 こども自然共生活動推進プログラム実施報告
- P4 こどもたちが参加するプログラム、希少野生動物
植物種保護支援員の募集、お知らせ



環境学習講座レポート

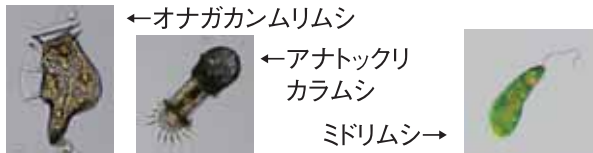
センター主催講座！

いきいき環境塾 エコっこスクール2010 自然観察隊 ミクロの世界をのぞいてみよう！

平成22年12月11日(土) 小学校4、5年生14人

セミナーパーク研修室にて、岩国市立ミクロ生物館の末友館長さんを講師に、エコっこスクール1日型の第2回目を開催しました。

海水と淡水に存在するミクロ生物やその世界の中にも生態系が成り立っていることなどを学び、秋穂の海水と採集した池の水をそれぞれ濃縮して、顕微鏡で観察し、名前などを調べて、記録(形をスケッチ)しました。



「なんで目はいっこしかないの?」「毛みたいなのはなに?」目に見えない不思議な生物たちに参加した子どもたちは終わりまで夢中になった1日でした。

いきいき環境塾 エコっこスクール番外編 「エコをきちんと実践」を考えよう! 大人のための施設見学ツアー

平成23年2月10日(木) 22人参加



子どもたちを連れて行った施設見学・・・「大人にも見せたい!」と、番外編として、セミナーパーク出発のバスツアーを企画。最初に訪れたやまぐち県酪乳業(株)では牛乳などの製品が出来るまでの生産ラインを見学し、循環型社会をめざして取り組んでいる動物性残渣や排水などのリサイクルについて等の話を聞きました。次に訪れた宇部テクノリサイクルセンターでは市町で集められた容器包装ごみがどのようにリサイクルされているのかを学び、ここで行われているプラスチック製容器包装ごみのリサイクルシステムを見学。家庭ごみの処理方法など、日ごろ疑問に思っていたことについて、有意義な意見交換が行われました。



やまぐち県酪乳業(株)



宇部テクノリサイクルセンター



☆環境学習講演会を開催しました!

「環境とエネルギー問題」



平成23年1月30日(日)セミナーパークにて、日本エネルギー経済研究所研究主幹の高木雄次氏をお招きし「環境とエネルギー問題」と題してご講演いただきました。当日は80人の参加者となりました。

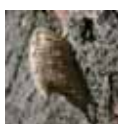
以下、講演趣旨を掲載します。

米国のオバマ大統領がエネルギー環境政策の中で提唱したグリーンニューディール政策が世界的なトレンドになってきました。これは、環境を切り口に、これからの経済を引っ張っていくという新鮮な考え方ですが、根幹にあるのはエネルギー問題であり、今、そのエネルギーが低炭素社会に変革させるクリーンなエネルギー社会を目指して大きく変わろうとしています。資源に恵まれない日本は、環境技術を高めてきました。今、優れた環境技術を持つ日本にとってまたとないビジネスチャンスです。グリーンニューディールは、世界各地でこれから本格的に始まり、日本はこの動きを先んじて取り組めば、新しい産業を生み出し、経済の活性化につなげる弾みとなるでしょう。

セミナーパークで自然観察!



冬芽が芽吹く今日このごろ。セミナーパークにある落葉高木のケヤキにはまだ葉っぱがありません。「あんなところに残ってる!」と思ったら、器用にくるくる巻かれた虫のおうちでした。よく見ると、ところどころにいろんなモノが付いています。3cmほどのかたまりや15mmくらいの楕円のモノなど、りっぱな昆虫図鑑をめくってみても、成虫しか載ってなくてネットで調べると、それはどうやら「ハラビロカマキリ」の卵。楕円のキミは蛾の繭(まゆ)らしい。成虫によく似た形のカマキリの幼虫はダニやアブラムシなどの小動物を食べ、蛾の幼虫は基本的には植物の葉を食べて成長するそうです。なかには肉食系も。



こどもエコクラブをご紹介します!

岩国市立玖珂中央小学校

☆こどもエコクラブ名

日本お助けたい エコかんきょうたい
 自然大好き団 自ぜんのためにがんばるたい
 エコチーム カンキョウチーム

□こどもエコクラブの紹介

本校では、毎年4年生が『こどもエコクラブ』に加入し、総合的な学習の時間を中心に活動に取り組んでいます。4年生の学習内容では、環境に関わる内容が各教科でたくさん出てきます。その学習内容と総合的な学習の時間をリンクさせ、環境学習の深化充実をめざしています。

□どんな活動をしていますか?もしくは、どんなことに力をいれて取り組んでいますか?



○地域の環境を知る

自分たちの生活している環境をより詳しく調べる学習を行っています。
 ・地域の自然を知ろう: 笹見川の生きものを中心に(理科との関連)
 ・地域の問題を発見しよう: 地域のごみや水の実態(社会との関連)



○環境を守るためにできることを実践しよう

自分たちの生活している環境を守るための体験的な取組を行っています。
 ・ごみ箱作り(社会との関連。校内で出るごみをきちんと分別するために)
 ・ピオトープ作り(地域の自然を自分たちの近くに持ってこよう)
 ・笹見川の清掃(学校の近くを流れる笹見川を守ろう)
 ・岩国市植樹祭への参加(羅漢山での植樹)
 ・緑のカーテン(理科 ゴーヤの栽培との関連)
 ・壁新聞の作成(活動してきたことをまとめよう)



□どんなことをしていきたいですか?またはどのようなことを子どもに伝えたいですか?

小学校での環境教育においては、不思議さに満ちた自然を感じることの大切さを味わわせることが重要だと考えています。教室やインターネット上において知識を学ぶだけでなく、自らが環境と直接かかわること、すなわち具体的な活動や体験を楽しみながら行うことを推進することが小学校における環境教育の一番重要な学習だと思います。そして、「センス・オブ・ワンダー」つまり、神秘さや不思議さに目を見張る感受性を身につけてほしいと願っています。

イベントのご案内



セミナーパーク ふれあいフェスタ2011



とき **5/22 (日) 10:00~15:30**

セミナーパークでは毎年、広く県民の皆様にセミナーパークを知って利用していただくために、自然の中で家族連れで楽しめる交流・ふれあいイベントを開催しています。環境学習推進センターも、老若男女楽しみながら、環境について学べるブースを設置します。たくさんの方のご来場を楽しみにお待ちしております。

<環境学習推進センターブース>

- 自然ふれあいゾーンで環境クイズラリー
- 環境輪投げ
- ゲームなど



豪華粗品あり♪

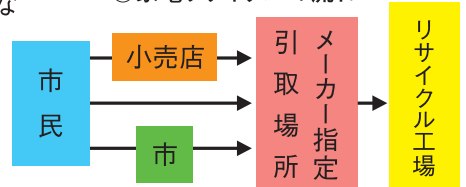
家電リサイクル法とは?



特定家庭用機器再商品化法(通称:家電リサイクル法)とは、一般家庭や事務所から排出された廃家電(エアコン、テレビ(ブラウン管、液晶、プラズマ)、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)から、有用な部品や材料をリサイクルし、廃棄物を減量するとともに、資源の有効利用を推進するための法律です(平成10年6月に制定、平成13年4月から施行)。小売業者が引き取り、製造業者等がリサイクルを行う仕組みを作ったもので、消費者は排出する廃家電が、確実にリサイクルされるよう小売店に適切に引き渡すこととされています。

一般廃棄物の多くを占めるプラスチック製容器包装廃棄物を始め、様々な廃棄物のリサイクルが始まったのは、最終処分場のひっ迫など、現在の廃棄物処理をめぐる状況から、廃棄物の減量とリサイクルが必要となったからです。廃家電からリサイクルされるものは、主にプラスチック類、アルミ・銅などの金属やガラスです。私たちが使用しているあらゆるものはいらなくなってもごみにしないことが大切です。「捨てればごみ、活かせば資源」

○家電リサイクルの流れ





「こども自然共生活動推進プログラム」

〇体験発表会を実施しました

- ☆ 日時：3月13日(日) 10:30～16:00
- ☆ 場所：山口県セミナーパーク 研修室103
- ☆ 主催：山口県、(財)山口県ひとつり財団
- ☆ 内容：午前 講演会 「市民とともに身近な生きものをさぐる」
～タンポポ・カタツムリ・ネズミ～



兵庫県立人と自然の博物館研究員 理学博士

鈴木 武 氏

午後 体験発表

〇探検8団体の活動報告



周東里山の会(岩国市)

岩国市周東町にある「いやしの森」で雑木の除去作業を行った。作業後は自然に親しむ体験で黒岩峡の沢登り、湿地で水辺の生きもの教室を実施。また竹林の整備を行い春にはタケノコ掘りをする予定だ。こどもたちはノコで木を切ることや自然の中で楽しむこと、生きものとふれあうこと等を体験した。



(社)ガールスカウト日本連盟山口県支部(周南市)

周南市にある「ふれあいの森」等で、里山の手入れ、樹木の観察、樹名板の設置、里山で見つけた木の実等を使ったクラフトづくりを行った。こどもたちは森の役割、樹木の見分け方やタネの移動の仕方、昔の人の里山との関わり等を体験と講師の話から学んだ。



マロニエの森の会(山口市)

山口市宮野にある「森の夢」を中心に活動した。里山の散策で樹木の観察や「きのこ」の学習、草刈、岩杖川の沢登り、植樹、さつまいも、じゃがいもの植付けを行った。こどもたちは、川の中の様子や「きのこ」探し等を通して自然の中を観察する楽しさを体験した。



YSCエコクラブ(山口市)

山口市の自然を利用して里山・里川・里海で植樹、キノコの観察、水辺の教室、川遊び、干潟の役割、カブトガニの生態等を学んだ。参加したこどもの感想文に「里山では自然の中で生きるという貴重な体験をして、自然を大切にしようという気持ちになった。」とあった。



秋吉台地域の巨樹・名木を守り育てる有志の会(美祿市)

秋吉台上にある街道松やイチイガシ等、地域とゆかりのある木を植栽した。1724年に街道の道しるべとして222本の松が植栽されたが近年枯れてしまっていた。今回植栽に参加したこどもたちは秋吉台のガイドを実施している小学生で来年以降のガイド内容が楽しみだ。



本山会(山陽小野田市)

竜王山に飛来する渡りチョウ「アサギマダラ」を増やそうと、地元の小学生とともに、チョウが吸蜜をするヒヨドリバナの植付けと花の開花時に合わせた観察会を行った。花とアサギマダラ、その他の竜王山の植物等を観察した。こどもたちは、五感を使い豊かな自然を体感した。



出会の森ファンクラブ(下関市)

下関市阿内薫木(くすべき)の森の中にある「出会の森」でこどもと大人が一緒になって間伐材の処理、森を守る活動と探検、ビオトープづくり、生きもの観察会、森での遊びを行った。作業後、こどもたちは泥だらけになることも気にせず、裸足になり自然の中で楽しく遊んだ。



千畳里山の会(長門市)

日置の最高峰・草添山の登山道整備と鳥の巣箱かけ等を行った。自分で作成した巣箱を山の木に設置したこどもたちは、登山道を歩きながら、木の実、朽ち木、水晶等を発見した。参加者の一人は「鳥が入ってくれるといいな」と掛けたばかりの巣箱を見上げていた。春休みには観察登山を実施する。



こどもたちが参加するプログラム

『こども自然共生活動推進プログラム』は、次世代を担うこどもたちが自然とのふれあいや自然環境保全活動などに参加することで、自然のすばらしさや大切さを学んでもらおうとするものです。

プログラムに取り組む民間活動団体には、20万円を限度に助成することとし、今年度は8団体に助成を行いました。

各団体の活動に参加したこどもたちは、何度も活動に参加して道具の扱いに慣れているこどもから、友達に誘われて初めて参加したこどもまで様々でした。

山で間伐作業を体験したこどもは、途中何度かくじけそうになりながら、大人の助けを借りノコギリで木を切り倒しました。倒木となった木を短く切断し積み重ねる作業を初めて体験したこどもは、ノコギリにとまどいながらも、大人から手取り足取りの指導でやり通しました。「疲れた～」と言いながらも、どちらのこどもも満面の笑みで、次の木に取りかかっていました。

団体のスケジュール設定も工夫があるものでした。一日の内に作業と自然の中で遊ぶ楽しみが組み合わさっていました。川遊び、木にロープを掛けたブランコ、陸地や水辺の生きもの観察等。こどもたちがまたこの場所に来たいと思ってくれるような工夫がありました。

こどもたちがこれから先も自分たちで整備した自然を大切に、また愛おしく感じてくれることを期待しています。平成23年度も『こども自然共生活動推進プログラム』に取り組む団体を募集します。



希少野生動植物種保護支援員になろう

☆ 保護支援員の役割とは…

自然の中に出かけ自然とふれあい、自然を知ることから始めてください。そして動植物の観察会、研修会、ナベヅルのねぐら整備などの保護活動や竹林の伐採などの保全活動などに参加し、自分のまわりの人々に、希少野生動植物の現状や生物多様性の大切さを伝えることです。

☆ 登録の方法は…

希少野生動植物種保護支援員は、小学生以上であれば、どなたでも登録することができます（小学生の場合は保護者と一緒に登録）。『希少野生動植物の保護』や『自然と人との共生』に関心や熱意のある方、自然環境に興味のある方はぜひ登録を!!

登録につきましては、山口県環境生活部自然保護課（TEL083-933-3060）までお問い合わせください。



環境学習推進センターからのお知らせ

○環境学習教材の貸出、ご相談に応じます!

地域や学校、会社等での環境学習などに活用していただくために、環境に関する図書やビデオ等の教材を無料で貸し出しています。個人でもOK。現在、図書399冊、ビデオ・DVD等281本、紙芝居7話、環境啓発パネル12種類。各地の環境イベント等で啓発パネルをご利用いただいています。早めのご予約を!



○セミナーパークで環境学習を!

セミナーパークの自然ふれあいゾーンにあるトリムコースを利用して、「環境クイズラリー」ができるようになっています。クイズの問題は“温暖化問題を考える編”、“自然環境を考える編”の2種類を常設。自然の中を散策しながら、環境について学びませんか?ピクトープなどを活用した環境学習会も開催可能ですので是非ご相談ください。



<編集後記> インターネットで検索した「カマキリ」画像の被写体はほとんどがぼっちカメラ目線。もちろんカマキリのほうは「なに見てんだ、こら〜!」と思っているだけでしょうけどね。すごくかわいくて、デスクトップ画面に貼り付けちゃいました。今年度もあと少し。来年度もよろしくお願ひします。(あ)そろそろ暑いコートを脱いで、身も心も軽くなろう〜だけど体に貯め込んだものが…。来年度もこどもたちと楽しく活動したいと思ひます。(と)



発行元

(財)山口県ひとづくり財団 県民学習部 環境学習推進センター
〒754-0893 山口市秋穂二島1062(山口県セミナーパーク内)
TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720
URL <http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/>

